



たけだ正光県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

6月県議会一般質問に登壇

県政与党の自民党内でも、若手のホープと期待される流山市選出の武田正光(たけだ・まさみつ)県議は、3期目の充実期を迎え、昨年9月議会の一般質問、今年2月の予算委員会での質疑に続いて、6月県議会でも一般質問に登壇しました。武田県議は、今議会では柏特別支援学校の校舎の老朽化及び児童生徒の過密化について取り上げ、早期の施設改修と過密解消への具体的な対応を強く求めました。

また、国の交通政策審議会が「つくばエクスプレス(TX)」の東京駅延伸を答申したことに関連し、県としても積極的な対応を求め、併せて通勤・通学時の混雑緩和への取り組みも要望しました。地域での子育て家庭への支援策など、武田県議の主な質疑を特集しました。



地域に関する諸問題について発言する武田県議

柏特別支援学校 老朽化・過密化対策を急げ!

来年度にプール使用可能へ

武田議員 私はさる5月12日、私の地元流山市からも多くの児童が通学している柏特別支援学校を視察しました。そこで私が感じた大きな課題は以下の2点です。

一つ目は、校舎等の深刻な老朽化です。柏特別支援学校の老朽化について、どう考えているのか。

教育長 県教育委員会は、特別支援学校を含む県立学校の校舎等の老朽化に伴う補修・改修については、教育活動に著しい支障が生じかねないものなどから優先的に対応しているところ です。

柏特別支援学校については、平成28年度にエレベーター改修の設計や、プールの改修工事などを実施する予定であり、現在使用できないプールは、来年度には使用が可能になります。

児童数増加に対応

武田議員 一つ目は、児童生徒数の増加に伴い過密状況に陥っている問題です。特別教室を転用して普通教室の数を確保しているなどの問題を目の当たりにしました。児童生徒数の増加に伴う過密状況について、どう考えているのか。

教育長 柏特別支援学校の過密状況については、平成27年度の矢切特別支援学校の開校に伴い、それまで柏特別支援学校の通学区域だった柏市南部を、つくし特別支援学校の通学区域に変更し、柏特別支援学校の児童生徒数が減少するよう対策を講じてきました。

県教委では、引き続き過密状況への対応が必要と考えており、在籍する児童生徒数の確かな推計に努め、今後の対策を検討してまいります。

要望 柏特別支援学校の過密については、この地域の人口が増加することは間違いのないと思います。教育長は推計を見なが

要望 特別支援学校の老朽化対策は、一般の小中学校に比べると遅れているのではないかと感じました。できるだけ早く可能なものから対応してほしい。

らということですが、児童生徒数は増えてきます。廊下で授業をしているという次第ですので、速やかな対応をお願いしたい。

小児救急電話相談

武田議員 小児救急電話相談の時間延長に伴い、どのような相談体制で実施しているのか。また、電話相談の利用状況はどうか。

森田知事 現在、小児救急電話相談は、夜7時から10時までは3名または4名、今年度延長した夜10時から翌朝6時までは2名の看護師で対応しており、必要に応じ医師に相談できる体制で行っています。

新体制となった平成28年4月の相談件数は、前年同月と比較して666件増加した2189件であり、そのうち、約3分の1が延長した時間帯での相談でした。

武田議員 相談事業に対

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください
 〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
たけだ正光 県議事務所
 TEL.04-7159-0518 FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索
<http://www.takeda-hashiru.com>

する効果についてどのように考えているのか。

森田知事 小児救急電話相談に関する平成20年度と25年度のアンケート調査結果を比較すると、「満足」または「やや満足」と回答した方は約78%から87%に増えており、多くの県民から好評をいただき、保護者の不安解消に貢献していると考えています。

要望 今後ますます周知が広がると、どんどん件数が増えてくると思います。回線の数の問題など、さまざまな整備が必要になってくると思っていますので、引き続きよろしくお願ひします。

TX東京駅延伸 県に積極的な対応を提言

通勤時の混雑緩和も要望

武田議員 私的地元流山市を通るつくばエクスプレスは、昨年8月に開業10周年を迎え、利用者も順調に増えております。そうした中、今年4月に発表された国の交通政策審議会の答申に、東京駅への延伸というつくばエクスプレスのさらなる進化に資するプロジェクトが示されました。

そこで伺います。交通政策審議会の答申を踏まえ、県としてつくばエクスプレスの東京駅延伸をどのように認識しているのか。

総合企画部長 つくばエクスプレスの東京駅延伸について、現在、延伸に係る需要予測調査等の準備を進めていると聞いています。また、東京駅周辺は高度に土地利用が進んだ地域であり、延伸に当たっては事業費や事業スキームの十分な検討が必要となります。

県としては、これらの動向を十分注視しながら、国や地元自治体と連携して必要な対応を図ってまいります。

要望 千葉県は区画整理事業を沿線で行っていますが、特に流山センターパーク駅周辺の運動公園周辺地区では、まだまだ

多様なニーズに応じ支援

そこで伺います。地域の子育て家庭のさまざまなニーズに合わせ、子育て支援の取り組みについて充実を図っていくべきと思うがどうか。

健康福祉部長 昨年4月から「子ども子育て支援新制度」がスタートしたところですが、県では共働き家庭だけでなく、すべての子育て家庭を支援するため、「地域子ども子育て支援事業」の13の事業メニューの中から、地域の実情に応じて実施する市町村の取り組みを支援しています。

県に働きかけを行っていたきたい。

また、つくばエクスプレスは乗降客数が非常に増えており、通勤・通学の時間帯、朝の8時前後の混雑が大変ひどくなっています。今回の答申でも、目指すべき都市鉄道の姿として混雑緩和が掲げられていますので、例えば車両の8両化とか、さらには列車を増便するなど、混雑対策にも取り組んでいただくよう要望します。

子育て家庭を支える「ファミリーサポートセンター事業」や、子育て親子の交流の場を提供する「地域子育て支援拠点事業」、また「病児保育事業」など、子育て家庭の多様なニーズに対応しています。

要望 保育所の整備だけでなく、さまざまなニーズがある中で、県としてきめ細かく市町村と連携して行っていただきたい。ファミリーサポートセンター事業も保育所とは違った広がりのある事業なので、しっかりと推進していただきたい。

市野谷の森進捗状況

武田議員 県立市野谷の森公園の整備の進捗状況はどうか。

都市整備局長 市野谷の森公園は、動植物の生息地・生育地である樹林地帯の保全を目的とした面積18.5ヘクタールの県立都市公園です。1期区域約3.7ヘクタールで事業を実施しており、昨年度までにほぼ用地を確保しました。

現在、主要施設となる水辺空間を創り出す修景池の工事着手に向けて、関係機関との協議を進めています。

要望 市民の期待が高いため、1日も早く完成をお願いしたい。

災害時県庁舎の代用

武田議員 県では、大規模な地震により県庁舎が使用できなくなった場合の対応について、どのように考えているのか。

防災危機管理部長 大規模災害が発生した場合の防災拠点ともなることから、県庁の本庁舎は、十分な耐震性を確保しています。

しかしながら、不測の事態を想定し、応急対応業務を遂行するため、本庁舎、中庁舎に代わる施設を定めています。具体的には、必要な防災用の通信施設を備えている庁舎の中から、耐震性や津波及び液状化のリスク等を総合的に評価し、第1候補として印旛地域振興事務所を、第2候補として東葛飾及び長生地域振興事務所をそれぞれ選定しています。



議場の自席から再質問に立つ武田県議

地域の子育て家庭にも支援を！

たけだ正光県議プロフィール

経歴

- ・S57 流山市立八木南小卒業
- ・S60 流山市立八木中卒業
- ・S63 専修大学松戸高校卒業
- ・H4 中央大学商学部卒業 公認会計士
- ・H19 千葉県議会議員選挙初当選
- ・H23 2期目当選 県土整備常任委員会委員長
- ・H25、26 環境生活警察常任委員会委員長
- ・H27 3期目当選

現職

ちば自民党青年部長